

当面する諸案件を報告

大網白里市議会第2回定例会 市長事務報告

6月3日から24日まで、市議会第2回定例会が開催されました。開会日に市長から、事務報告がありましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策

全国各地で徐々に高齢者向けのワクチン接種が進んでおり、本市でも一部の医療機関、国保大網病院では個別接種を始めており、集団接種は、6月12日より開始する予定です。

接種の日程や予約方法等は、5月27日付けの新聞折り込み等により案内しましたが、予約時の電話回線やシステムの混乱を避けるため、年齢層を複数の区分に分けた上で、より高齢の方から段階的に予約の受付を行っています。

保健文化センター、大網白里アリーナ、農村環境改善センターいずみの里の3つの会場のほか、休日の国保大網病院でも集団接種を実施することとしました。

財政

令和2年度の会計は決算を調整中ですが、決算規模は一般会計歳出ペースで209億円程度、実質収支は5億円程度になるものと見込んでいます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として計上した「特別定額給付金」をはじめ、「子育て世帯への臨時特別給付金」、地方創生臨時交付金を活用した「中小企業等経営支援金」、「大網病院経営支援金」などの各種支

援策により、歳入・歳出とも前年度の決算を大幅に上回る見込みですが、市税は、コロナ禍の影響により、予算額は確保できるものの前年度を下回る見通しです。

令和2年度は、本市のふるさと納税額が前年度比、約5.1倍の1億2,300万円という過去最高額を記録しました。企業版ふるさと納税は、「第2期 大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地域再生計画が国の認定を受け、本年度から積極的に進めます。

令和3年度の防災訓練は、6月27日に市内全域の土砂災害警戒区域内にお住まいの方を対象とした「土砂災害避難訓練」、風水害時における避難場所の開設を想定した「職員災害初動対応訓練」を実施します。

11月6日には、千葉県との共催により、「九都県市合同防災訓練」を実施する予定です。千葉県により進められていた波乗り道路アンダーパス開口部6箇所の陸間工事は、一部の設備工事の影響により、完成予定に遅れが生じましたが、6月末には完成する予定です。

防災対策

令和3年度の国民健康保険の税率等は、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、引き上げを行わず据え置くこととしました。

国民健康保険

しかし、本市の国民健康保険特別会計は、県への納付金額が増加している中、現行の国民健康保険税収入では納付金を賄うことができず、収支不足を国民健康保険特別会計財政調整基金により補てんせ

子育て支援

新型コロナウイルス感染症

ざるを得ないことから、基金の残高が年々減少している状況です。このため、適切な基金額を保ち、健全な国民健康保険特別会計の運営を行っていただくためにも、令和2年度の決算額に基づく将来推計をもとに、具体的な対策について検討してまいります。

公共交通

9月末で実証運行期間が終了する白里地区コミュニティバス「はまバス」の10月以降の運行方針について、地域公共交通活性化協議会で議論をいただいたところ、白里地区は今後も高齢者人口の増加が見込まれ、路線バスを補完する移動手段としてコミュニティバスの運行は必要であると判断をいただくとともに、安定した運行のための方策として、市街地ルートと地区内循環ルートとの統合、運行時間の繰り上げなどによる業務の効率化、民間路線バスとの運賃の整合など、運行計画の見直しについて意見をいただきました。

市街地整備

大網駅東土地画整理事業は、区域内の道路築造および宅地造成工事が終了し、区域内の電線を地中化するなどの無電柱化工事を進めるとともに、事業の完了に向けた事務処理を行っているところですが、換地処分後の清算金事務、さらに、地権者から千葉地方裁判所に提起されている仮換地指定処分の取り消しを求める行政事件訴訟が継続中であることを踏まえ、事業期間は、令和4年度まで延長する方向で検討しています。



▲協定締結式

太陽光発電

太陽光発電施設の設置に当たり、市の許可を要しないこと、地域住民への合意形成が必要とされていることなど、さまざまな問題があることから、事業者に対し、施設の適正な設置および管理を促すため、平成30年度に、市への事前協議や地域住民への説明会、その他事業実施に当たり配慮すべき事項を定め「太陽光発電設備の設置及び管理に関するガイドライン」を策定し、対応を図ってきました。

しかし、これまで運用を続けてきた中で、説明会の際、事業者ごとに説明内容の違いが生じるといったケースが見受けられたことから、今回、説明会を開催する際に周知すべき事項等を新たに定め、運用を開始しました。

有害鳥獣等対策

近年、有害鳥獣や外来生物等による農作物への被害が深刻化していますが、本市でも、以前から多発している「ジャポタニシ」による水稲への被害に加え、最近では、イノシシによる被害も急増しています。こうした中、本年度は、清名幸谷地区で、国・県の補助事業を活用した、ジャンボタニシの被害軽減対策が開始されました。

下水道事業

市の下水道事業は、昨年度より公営企業会計に移行し、公共下水道、農業集落排水およびコミュニティ・プラントの3事業を一体的に運営していますが、経営状況は依然として厳しく、収入の不足分を一

教育

般会計からの繰入金で賄っている状況です。さらに、本市の人口は、今後、徐々に減少していくことが見込まれており、これに伴い、使用料収入の減少が予想されることから、将来にわたる下水道事業を維持していくためには、早急に下水道使用料の見直しを含めた経営改善策に取り組んでいく必要があります。

夏期観光

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により、本市の観光は大きな影響を受けたことから、本年は、夏期観光の要である白里海水浴場の開設に向けて努力してきました。

しかし、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が延長され、その後の状況も、現段階では明確な見通しを立てられないことから、市民の皆様への安全・安心を第一に、本年も開設を見送ることとしました。

デジタル博物館

本市のデジタル博物館が、3月18日に、全国の市町村で初となる「デジタルアーカイブ学会第3回学会賞」の実践賞を受賞しました。今回の受賞は、デジタルならではの特徴を生かし、町史をはじめ、美術品や博物館資料などを広く公開するといった取り組みに加え、コロナ禍で市内小中学校の授業の一環としてデジタル博物館が活用されるなど、教育や地域の創生にも大きな役割を果たしていることが高く評価されたものです。

上しました。